

# futbol y vida

Poco a poco ...  
 poco a poco ...



2022 Team 最初の公式戦がスタート!!  
 新人戦を勝ち上がり“代表”を狙う!!

## 2022 Team スタート、“K’s football style”の進化へ!!

### 「凡事徹底」を確認し、高校サッカーのスタンダードを目指す!!

リーグ最終戦で優勝を決めた翌日（11/4）、明日から始まる新人戦兼関東大会予選に向けて、新チームはTRをスタートさせました。早速、先週末には、新人戦のメンバー選考も兼ねた新チームの初TRMを三試合行い、三年生の抜けた穴を狙うものや同ポジションのライバルとの闘いを意識するもの等々、子どもたちの熱量の高さを感じました。22’チームは、前年度チームから公式戦を経験しているものが多いのでスタッフ陣もとても期待しています。

さて、新チーム立ち上げに伴い、恒例のミーティングを短時間ではありましたが柔道場で行いました。今チームでも子どもたちには、継続して高校サッカーのスタンダードを目指し、ON&OFF the pitchでの「凡事徹底」をスローガンに掲げて、特に強豪校と呼ばれているチームが共通して持っている部分である「オフ・ザ・ピッチ」の立ち居振る舞いを、TRMを通して実際に見て学び身に付けさせたいと思います。私が片倉高校に赴任しサッカー部を指導してからはこの部分に関しては時間を割いてきたので、以前と比較して多少の成果（変化）は現れたのではないかと感じています。もちろん、こういうことにゴールは存在しません。満足したらそこで終了します。前に進むための道は永遠に続いていくのです。新チームでも妥協せずに指導していきます。

また、新チームの目標を新たに設定し、全員が同じ目標に向かいそれを追求するためお互い切磋琢磨できる環境の中で、TRから常にゲームを想定して100%全力で臨むことや、「TR間の切り替えの早さ、基本練習（特にスパイダーなどのルーティンメニュー）を疎かにしない」など、その環境自体を子どもたちで作り上げることの重要性について話しました。

K’s football style では、サッカーのみならず子どもたちの心の成長も含めて、常に貪欲に上を目指す努力を日々積み上げて、そして目標に対して最後までやり切る力をつけていきます。

新チームも「凡事徹底」を通して子どもたちの人間性を育み、人間形成の場となるクラブを目指し、保護者を始めサポートしている方々へ感謝の気持ちを持って活動していきたいと思ひます



<早速、2022 Team がスタート!! 先週末には TRM 三試合で公式戦への準備万端!! >

## 2020 Team 初陣 新人戦初戦 VS 南多摩中等 勝利!!

11月14日(日)、小春日和&サッカー日和の中、新チームの初公式戦となる新人戦の初戦 VS 南多摩中等が片倉高校グランドで行われました。前チームから切り替わり今大会までの準備期間は十日間しかありませんでしたが、ユースリーグ優勝経験者がスタートメンバーに多く残っているので戦力的な心配は全くありません。また、例年、片倉高校サッカー部の課題は「メンタリティーの強化」ですが、新チームは入学当初からそれに繋がる指導をここまで継続して行っているため、果たして本番の大舞台で持っている力を十分に発揮できるチームへ成長しているのか?新チームの初公式戦は楽しみしかありませんでした。



ゲームは片倉のキックオフで始まり、前半4分に先制するとその後も相手陣地内でサッカーをする時間が長くゴールを重ねて前半で大差が付きましました。後半の立ち上がりは相手も修正してきましたが、後半20分に追加点を奪うと再び流れを引き寄せてゴールを量産。不運な形で失点はするものの、新チームの初戦を勝利で飾ることができました。

次戦の対戦相手は、南平高校です。二年目の新監督(元同僚)のもと着実に力を付けてきているので、公式戦での対戦がとても楽しみです。初戦の勝利に舞い上がることなく気を引き締めて今週のトレーニングに全力で臨みたいと思います。



<2022 Team 初陣を勝利で飾る!! ここから “New K’s football” がスタート!!>

## 東京FIDとTRMで“心のバリアフリー”を学ぶ!!

先月、清瀬内山グラウンドで東京都知的障がい者チーム(東京FID)とTRMを行いました。東京FIDは、中学生から社会人まで年齢層の幅広い選手が所属し、東京都代表チームとして活動しています(日本代表の選手も所属していたことがあります)。前任校時代から、年に二、三回交流をしていました。新型コロナの影響もありここでは実施できていませんでしたが、今回ようやく緊急事態宣言が解除となり、片倉高校サッカー部でもTRMが実現しました。

今後、Footballを通じて“心のバリアフリー”を肌で学ぶとともに、東京FIDと積極的に交流を続け普及活動のお手伝いをしていきたいと考えています。

